

令和6年度 第2回 長門市環境審議会 会議録（要約版）

日時：令和6年6月26日（水） 10：00～11：00

場所：長門市役所4階 会議室1・2

出席者：委員13名（欠席4名）、事務局5名、傍聴者0名

1 開 会

2 市民生活部長あいさつ

3 議 事

（1）（仮称）新白滝山風力発電事業 環境影響評価方法書の答申について

以下について、別添、答申案により事務局から説明

1 総括的事項について

（1）（2）

2 環境評価項目について

（1）（2）（3）（4）（5）

いただいた意見を踏まえ、答申案を修正することです承。

修正後の答申案については、会長の了解をもって、審議会意見として提出することです承

4 その他

今後のスケジュールについて

事務局へ 会議の招集方法、市長からの諮問方法について指摘あり

【主な質疑等】

(1) (仮称) 新白滝山風力発電事業 環境影響評価方法書の答申について

ア 答申案協議

	発言内容
A 委員	(前回の) 配慮書の答申を修正した答申案と見受けられる。 方法書に記載することで、事業者が見解を示し、すでに配慮が済んでいる内容も、今回の答申案に再度記述が見られるのはどうかと思う。 今年度の審議会での協議内容のみに絞って答申するべきではないのか。 昨年度の協議内容に加え、配慮済みの内容も含まれると、今年度の協議内容が薄れるような気がしてならない。
事務局	ご指摘の点につきましては、事務局でも意見が分かれ、協議を重ねました。 結果、事務局といたしましては、答申内容に漏れがないことを最優先事項とし、各段階での審議会協議内容との整合性がとれなくても、各段階において、何度でも（繰り返し）総括的に記述していくこととさせていただきます。 どうかご理解いただきたい。
B 委員	山の保水力について、尾根部の影響は微少との説明があったが、近年の異常気象による豪雨でも土砂災害の危険性は無いのか。 “「想定外」「不可抗力」の雨でした” では済まない。 きちんと想定して、説明していただかないと納得できない。
事務局	異常気象を含んだ記述を考慮します。 また、今後詳細な設計とともに、事業者の説明を求めていきます。